

小島祐馬 （註） 支那學者、文學博士。明治十四年十一月十二日高知縣
生れ、昭和四十二年十一月十八日歿（七八一―一九六六）。號抱甕。京都帝
國大學法科大学卒、支那遊學後同大文科入學哲學科卒。大正九年雜誌
『支那學』創刊。のちフランスに渡りて社會學を學び、昭和六年京都
帝大文學部教授となる。

著書に、市野迷庵著 『讀書指南』（内藤虎次郎共編、昭和十年六月）
『支那學』創刊。のちフランスに渡りて社會學を學び、昭和六年京都
帝大文學部教授となる。

著書に、市野迷庵著 『讀書指南』（内藤虎次郎共編、昭和十年六月）
十五頁弘文堂書房）、『古代支那研究』（昭和十八年二月一日弘文堂
書房）、『回響の河上肇』（合著・小林輝次也）二名編、昭和二十二年
二月十五日世界評論社）、『中江兆民』（昭和二十四年二月十五日弘
文堂「アテネ文庫」）、『中國共產黨』（昭和二十五年七月十日弘文
堂「アテネ文庫」）、『学生生活の思ひ出』（他十名合著、昭和二十
九年六月一日宝文館）、『社会思想史上における「孟子」』（昭和四
十二年六月十五日三島海雲刊「カエル文化叢書」）等。

